

2月&3月合併号

MJIA

M A G A Z I N E

FEBRUARY &
MARCH 2026



マリック駐日インド大使の歓迎レセプションで挨拶をする齋木理事長

公益財団法人日印協会

住所: 〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6 麹町保坂ビル6階

電話番号: 03-6272-4408

<https://www.japan-india.com>



世界をつなぐ、あたらしい空へ。



日印協会は、明治36年（1903年）の設立以来、日印間の政治・経済・文化交流に貢献しています。

目次

協会主催 ナグマ M マリック 新駐日インド大使閣下歓迎レセプション	4
インド国産特急「ヴァンデー・バーラト」乗車体験記 笠井亮平（日印協会顧問）	8
インド紹介 マニプル州	10
日印協会後援イベント『日印次世代共創カンファレンス 日印共創の最前線 未来を動かすインパクト』開催報告 認定特定非営利活動法人アイセック・ジャパン	12
書籍紹介：インド独立の志士「朝子」 著者：笠井亮平	13
学生限定「第3回インド・キャリアカフェ」開催報告	14
日印協会からのご案内	15
編集後記	17
法人会員一覧	19

インドの良き食文化をお伝えする事が私たちの使命です。（全国配送承ります）



シタールのインドカレー
変わらぬ人気のカレー
をそのままのお味で、
ご家庭へ。

社長の増田泰親は学生時代、当時九段にあった印度料理アジャンタでアルバイトとして入店し、大学卒業後はコックとして修業を積み、1981年に千葉市で印度料理シタールを創業いたしました。



アルフォンソマンゴードリンク
アルフォンソマンゴ
といえばシタール。自
信ある逸品です。

社長の増田泰親が情熱を傾けるアルフォンソマンゴから作る無添加ドリンクです。毎年インドの農園へ行き品質を確認して原料となるマンゴを輸入しています。



野生黒蜂蜜 ハンティングヒー
インド メルガートの
自然保護区でハニーハ
ンターによって採集さ
れる貴重な蜂蜜です。



おうちでつくれるチャイセット
インドのパザールで飲
む味そのまま！おうち
で簡単チャイキット。
マサラとレシピ付。

味と香りの調へを奏でる since1981
Sitar
印度料理シタール
千葉県千葉市花見川区検見川町 1-106-16
mail : info@sitar.co.jp

■上記以外の商品も多数取り揃えております。

■個人様、企業様向け季節のギフトなどのコーディネートもご相談承ります。

ご注文・お問い合わせは **TEL 0120-166-358** <http://www.e-sitar.jp/> ^

協会主催 ナグマ M マリック 新駐日インド大使閣下 歓迎レセプション

日印協会は、公益社団法人在日インド商工協会、日印経済委員会と共催で2月10日（火）の18時より日比谷の帝国ホテルにおいて、このたび着任されたナグマ M マリック駐日インド大使を歓迎するレセプションを開催しました。

立春から数日。2日前の降雪の影響も残り、春は名をみの風の寒さでしたが、この日のために、来賓の方々、法人会員、個人会員など、総勢200名を超える方々にお越しいただきました。

来賓として、日印友好議員連盟 西村康稔会長のほか、林芳正総務大臣、地方公共団体から、平井伸治鳥取県知事、中野祐介浜松市長を始め、多数の御参加をいただきました。



レセプションは、齋木昭隆日印協会理事長の開会の挨拶から始まり、西村議連会長からの御挨拶、安永竜夫日印経済委員会会長からの御挨拶のあと、マリック大使から着任の御挨拶をいただき、その後、比良竜虎・在日インド商工協会会長による乾杯の御発声、歓談となりました。



齋木昭隆 日印協会理事長



西村康稔 日印友好議員連盟会長



ナグマ M マリック駐日インド大使閣下



安永竜夫 日印経済委員会会長



比良竜虎 在日インド商工協会会長



マリック大使からは、以下の御挨拶をいただきました。

皆様、こんばんは。

まず初めに本日の温かい歓迎の場を設けてくださった日印協会ならびに関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。日印関係の強化のためにたゆまぬご尽力をされている多くの友人の皆様に囲まれ、大変心強く感じております。インド大使として日本に奉仕し、この重要なパートナーシップの発展に貢献できることを大きな光栄に思います。

日印協会は長年にわたり、両国間の文化的、経済的、そして人的交流の深化に重要な役割を果たしてこられました。本日、日印特別戦略的グローバル・パートナーシップは、かつてないほど重要性を増しています。経済関係を中心に始まった両国関係は、いまや幅広く戦略的な協力関係へと発展しました。インドのインド太平洋に対するビジョンは、日本の「自由で開かれたインド太平洋」と密接に一致しており、民主主義、自由、法の支配という共通の価値観へのコミットメントが、この地域の平和と安定の礎となっています。

昨年11月のG20サミットにおいて、モディ首相と高市首相が会談されました。2025年8月に採択された「今後10年のための共同ビジョン」は、経済連携や経済安全保障、技術、持続可能性、文化交流など8つの柱を掲げ、次世代の日印パートナーシップを導く指針となるものです。

経済安全保障はとりわけ重要性を増しています。志を同じくする国として強靱なサプライチェーンの構築、重要鉱物やレアアース分野での協力、さらにAI、半導体、クリーンエネルギー、宇宙といった新興分野での連携を進めていかなければなりません。10兆円という新たな投資目標は、私たちの共通の志を示すものです。日本はインドにとって最も信頼できるパートナーの一つであり、インドに進出している日本企業の好調な業績と事業拡大計画は、インドの成長と継続する改革への強い信頼の証です。

同様に重要なのが、両国間の人的交流です。若く優秀で技能を備えたインドの人材は日本のニーズを補完する存在であり、人材協力のさらなる深化は両国社会に大きな利益をもたらすでしょう。

世界は今、先行き不透明で国際関係が変化する時代を迎えています。しかし、いかなる変化があろうともインドは日本にとって揺るぎない、信頼できる友人であり続けることを確信しております。

ありがとうございました。

(Courtesy of Embassy of India Tokyo, Japan)



レセプションでは、参加者が長い列を作り、次々と壇上で大使と直接挨拶を交わし、約2時間半の会は大盛況のうちに閉会となりました。
御多忙の中、お越しいただいた方々全員に感謝申し上げます。



(事務局長 三谷礼子 記)

インド国産特急「ヴァンデー・バーラト」乗車体験記

笠井亮平（日印協会顧問）

最近インド東部を私的に旅行したとき、久しぶりに鉄道を利用してみようと思った。理由のひとつは、オディシャ州カタックから西ベンガル州コルカタを結ぶ区間の移動で、飛行機に乗るほどの距離ではなかったこと。しかしそれ以上に大きかったのは、ヴァンデー・バーラト・エクスプレス（以下VB特急）にぜひ乗ってみたいだったからだ。

VB特急は2019年2月に運用が始まったインド国産の車両で、各地の路線に投入されている。営業速度は時速160kmと他の特急より速く、乗り心地も快適と聞いて、がぜん興味が湧いた。「ヴァンデー・バーラト（Vande Bharat）」は「インドへの敬礼」を意味する。

まずはチケットを入手しなくてはならない。インド国鉄のサイトでID登録をして、PCやスマホで検索や予約、購入が可能（この流れは他の列車も同様）。指定した区間と日付で該当する列車が表示されるので、そこからVB特急を選ぶ。空席があればその場で座席の種類を選択や決済の手続きが完了する。しかし、筆者の場合は「ウェイティングリスト（WL）」、つまりキャンセル待ちだった。面白かったのはここからで、自分のWLの順番で「どれくらいの確率で予約がとれるか」がパーセンテージでアプリに表示されるのだ。筆者はアプリをチェックして、確率が高くなっていくのを確認するのがその頃日課になっていた。幸い、乗車数日前に座席が確保できた。値段は1500ルピー。約3000円だ。

乗車当日に話を移そう。インドの鉄道は遅延が珍しくない。しかし、VB特急はかなり正確だと聞いていた。実際、「ixigo」というスマホアプリでリアルタイムの運行状況をチェック（これも非常に便利な機能だ）すると、定刻に近い時間でカタックに近づいているのが確認できた。ほどなくして、オレンジ色の車両がホームに入ってきた。





VB特急は全席指定で、エコノミークラス（普通車）とエグゼクティブクラス（日本では例えばグリーン車）がある。筆者は前者にした。車内は日本の特急車両のようで、窓は開かない仕様になっている。乗り心地も良く揺れることもなかった。スクリーンには次の駅までの距離が表示されるので、どこを走っているのかがわかる。

乗車してすぐに、機内食ならぬ車内食が配られた。事前にノンベジを選んでいたのでチキンの煮込みとダール、ライス、チャパティ、アチャール、ヨーグルトと盛りだくさんで、食べ応えがあった。それが終わってしばらくすると、今度はスナックが配られる。これで終わりかと思いきや、終盤にもう一度車内食があった。チャイの販売（有料）もあり、至れり尽くせりのサービスだった。ちなみに乗車時間は5時間だ。車内の様子に興味津々だったのはもちろん、隣のインド人客とおしゃべりをしたので、非常に短く感じられた。コルカタのハウラー駅に着いたのは、定刻を20分少々過ぎたときだった。オンタイムと言って良い範疇だ。

VB特急は筆者が利用した座席タイプ以外にも、寝台車バージョンがある。2026年1月に「ヴァンデー・バーラト・スリーパー・エクスプレス」が登場し、コルカタのハウラー駅とアッサム州グワハティの駅を結ぶ路線で運行が始まった。こちらも今後、各地で採用されていくことだろう。「新しいインドの鉄道の旅」を読者にもトライしていただきたい。

マニプル州

概要

* 州都：インパール

* 人口：2,855,794人（2011年国勢調査）

* 面積：22,327km²
（県（District）：16）

* 識字率：85.4%

* 宗教別人口比率：ヒンドゥー教（41.4%）、
キリスト教（41.3%）、イスラム教（8.4%）
（2011年国勢調査）

* 主要言語：マニプリ語（メイテイ語とも言う）
：公用語



政治

（1）州政府

* 州知事：アジャイ・クマール・バッラ（Ajay Kumar Bhalla）（2025年1月～）

* 州首相：ユンナム・ケムチャンド・シン（Yumnam Khemchand Singh）（2026年2月～）

（2）州議会：一院制（定員60、2027年3月任期満了）

* 与党：インド人民党（BJP）32議席、民族人民党（NPP）7議席

* 野党：ジャナタ・ダル(統一派)（JDU）6議席

（JDUは当選時、その後、2022年9月BJPに合併）

（3）概況

英国植民統治下で藩王国であったが、1947年のインド独立後、1949年にインド連邦に編入され、1972年に州となった。2017年よりBJPのビレン・シンを州首相とする政権が続いた（2022年州議会選挙でBJPが32議席を獲得し、ビレン・シン州首相が再任）が、2023年、主にインパール周辺の盆地に居住する多数派のメイテイ族と丘陵地域に多住する少数派クキ族との民族衝突により、大規模な暴力と放火が発生。その後、両派による衝突と暴力が収まらず、2025年2月ビレン・シン首相は辞任し、大統領直轄下に置かれたが、2026年2月、大統領直轄が撤回され、ケムチャンド・シン（BJP）が新首相に就任した。

経済・産業

(1) 主要指標（2023年度、統計局資料）

* 名目州内総生産（GSDP）：4,341.4億ルピー

* 一人当たり名目GSDP：134,076ルピー

* 実質GSDP成長率：7.9%

* 州内総付加価値（GSA）構成比：

第一次産業 20.7%

第二次産業 9.9%（うち、製造業1.5%、建設業6.4%）

第三次産業 69.4%

(2) 概況

労働人口の37.5%が農業分野、38%がサービス分野、25%が工業分野に就いている（2022年度）。州内直接投資流入額は約10万ルピー（2019年－2025年）に留まり、工業、特に製造業の発展が遅れており、州内総生産の約7割がサービス分野による。

8千km²を超える竹林を有し、インド最大の竹生産州として竹細工、竹加工製品製造に力を入れている。園芸作物も8万ヘクタールを超える地域で80万トンを超える生産（2024年推計）がある。また、伝統手織物が盛んで、約25万人の織手（2025年10月現在）がマニプル独特の手織物生産に携わっている。

マニプルは「宝石の地」という意味を有し、州央に首都インパールを中心とする広い盆地が拡がり、その周りを丘陵が囲んでいる風光明媚の地であるものの、民族対立による治安悪化による入域に制限もあり、観光開発はあまり進んでいない。

日本との関係、その他

第2次世界大戦では、インパール作戦としてビルマから進攻した日本軍と英国軍との激戦地となった。戦後、多数の戦死者が出たレッドヒルの麓には地元住民によって日本兵慰霊碑が建立・維持管理され、遺骨収集団のインパール訪問も行われてきた。1994年には「インド平和記念碑」が建立され、2019年には「インパール平和資料館」が開設されている。

マニプルでは古くから養蚕が行われており、1997年より2008年までJICAを通じた養蚕支援プログラムが実施された。竹資源の活用については、現在、北東部地域全般への技術協力として「インド国北東部地域における竹資源利活用推進プロジェクト」が実施されている。

日印協会後援イベント『日印次世代共創カンファレンス 日印共創の最前線 未来を動かすインパクト』開催報告

認定特定非営利活動法人アイセック・ジャパン

2月17日、アイセック・ジャパンは、公益財団法人日印協会による後援のもとで日印次世代共創カンファレンス 日印共創の最前線 未来を動かすインパクトを開催いたしました。

【実施概要】

最近、ビジネスやニュース等あらゆる場面で耳にする機会が増えた日本とインドとの関係。その前提にある両国の社会や文化、そして経済やビジネス面での現状とその課題を、あらゆる領域の現場で日印共創を推進されているエキスパートから聞いて学び、今後のヒントが得られるカンファレンスとして開催いたしました。

日時：2026年2月17日（火）15:00～18:00（一部セッションのみの参加も可能）

形式：ハイブリッド形式

会場：ワйм貸会議室神田 Room7a ・ Zoom

当日は日本企業、日印の関係者、学生など合計65名に参加いただきました。

【総括】

当日は予定通り、公益財団法人日印協会顧問笠井亮平様、株式会社みずほ銀行大西勝視様、主催のアイセック・ジャパンと来日中のインド人インターンシップ生による講演と、日印ビジネスに最前線で取り組まれている4名によるパネルディスカッションを実施いたしました。学術・経済・ビジネス・異文化理解など様々な視点から、まさに「日印共創の最前線」を学び、これからの挑戦のヒントを得られるカンファレンスとなりました。

当日ご参加いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

本件に関するお問い合わせは、アイセック・ジャパン公式ホームページのお問い合わせフォームよりお願いいたします。

<https://www.aiesec.jp/#contact>



<書籍紹介>



インド独立の志士「朝子」

著者 笠井 亮平 著
 出版年月日 2026/01/29
 定価 1,870円 (本体1,700円+税)
 発行：白水社

日本で生まれ育ち、若くしてインド独立運動に身を投じた「朝子」ことアシャの数奇な人生を、日印関係史と当時の時代状況のなかに位置づけた傑作ノンフィクション。

白水社

日印の「かけ橋」となった女性の数奇な人生

「朝子」ことアシャは1928年、神戸を拠点にインド独立運動を展開していた父サハーイと母サティの間に長女として生まれた。神戸の小学校を卒業後、昭和高女（昭和女子大学の前身）在学中に来日したチャンドラ・ボースに感化されてインド独立運動に身を捧げることを誓ったアシャは、インド国民軍（INA）に入隊することを決意。1945年5月、バンコクにあったINA婦人部隊に配属されるも、日本の敗戦により活動は終了してしまう。

本書は、本人と関係者へのインタビューのほか、未公開の日記や回顧録など貴重な資料を駆使し、一独立運動家の目を見た戦前・戦後の日印関係を再構成したものである。日本で生まれ育ち、若くしてインド独立運動に身を投じたアシャとその家族の数奇な運命を通して、気鋭の研究者が日印関係史に新たな視角をもたらした傑作ノンフィクション。

Makaibari
Since 1999
マカイバリ茶園
日本総代理店

unitea
CHAMRAJ GROUP
コーラクンダ茶園
チャムラージ茶園
日本総代理店

Mango

Coffee

Shop in New Delhi

インドの「おいしい」「安全」を
日本へお届けしつづけ、24年。

Makaibari JAPAN
Tea Boutique & Tea Salon
HAPPY HUNTER INDIA

有限会社マカイバリジャパン (マカイバリ茶園アジア・日本総代理店)
 東京都中野区沼袋 4-38-2 Tel: 03-5942-8210 Fax: 03-5942-8211 makaibari_japan.tea@makaibari.co.jp www.makaibari.co.jp
ISHII TRADING PRIVATE LIMITED (インド会社) india_happyhunter.info@ishii.co.in
 E52 Hauz Khas Main Market, New Delhi-110016, INDIA

元ネルー大学教授プレム・モトワニ氏がメールマガジンにてインドからお届けする「インドの今」。ご登録は、マカイバリジャパンのホームページから。 www.makaibari.co.jp

ガネーシャ通信

学生限定

「第3回インド・キャリアカフェ」開催報告

去る2月20日（金）17時より、協会会議室において、学生限定イベント「第3回インド・キャリアカフェ」を開催いたしました。今回お招きした講師は、国際協力機構（JICA）広報部報道課長の江原由樹氏で、大学生6名の参加がありました。

江原氏からは、まず、インドに対する日本の協力についてお話いただきました。日本は約70年前から円借款の供与を開始しその累計は8.6兆円を超えること、インドには膨大な開発ニーズがあり、デリーメトロやインド高速鉄道をはじめ鉄道を中心とする運輸等のインフラへの援助だけでなく、近年は人材育成や水、保健等のセクターにも協力を深めていることなどのお話がありました。

また、国際協力を仕事にするということについてもお話をいただきました。国際協力と一口に言っても、国内で携わるか国外で携わるか、あるいはより広く海外に関する仕事に携わるかなど、国際協力に関わる仕事によって多様な立場があること。JICAは国際協力のプロデューサーとしてこうした多様なアクターと連携しながら実務に当たっていることについてご説明いただきました。

最後にインドで働く事を希望する学生向けに「インドが好きかどうかは、仕事と切り離すべし」（プロとして仕事ができるような強みが必要）、「キャリア構築は長期戦。自分の軸を固めつつも次の軸を探すことを意識し、そのためにどんな仕事も敬遠せずに取り組んでみるのが大事である」とのメッセージを頂きました。

江原氏はインドをはじめとする南アジアでの勤務のご経験が長く、ご自身の経験を踏まえたお話に、参加者はとても興味深く耳を傾けていました。

講演後、参加者との間でJICAでの仕事の様子やインドでの生活などについて、活発な質疑応答が行われました。終了後には、参加者間で和やかな懇親会が行われました。



学生対象

第4回 インド・キャリアカフェ

3月12日（木）

(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 執行役員

(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル インド現地法人 取締役会長

阿部 玲子さん



インド国メトロ事業に携わり、現在はインド新幹線、メトロ事業、水事業やコンベンションセンター構築など、大型インフラ案件のマネージメントを軸に、インド国以外の鉄道案件のマネージにも取り組む。その中での経験や、現地でのエピソードを聞ける貴重な機会です！

第1部 13:00-14:30

※開始時間がいつもと異なります
講演・質疑応答

第2部 14:30-15:30

交流会

公益財団法人日印協会 会議室

住所：東京都千代田区麴町1-6

麴町保坂ビル6階

地下鉄半蔵門駅（出口3a）徒歩2分

地下鉄麴町駅（出口1）徒歩7分

参加費：日印協会学生会員 無料
非会員 500円

2023年1月 インド新幹線 軌道&車両施工管理Directorを兼務

2018年4月 インド国インド新幹線準備業務に従事

2015年11月～2018年3月 インド国アーメダバードメトロ

プロジェクトマネージャーとして従事

2014年10月 オリエンタルコンサルタンツ・

インド現地法人取締役社長 就任

2007年11月～2015年 デリー及びバンガロールメトロ事業に従事

2004年 (株)パシフィックコンサルタンツに転職

2000年～2004年 台湾新幹線事業に従事

1989年～1995年 (株)鴻池組に入社

1989年 神戸大学工学研究科土木工学専攻 修士課程修了 工学博士

著書に「マダム、これが俺たちのメトロだ！インドで地下鉄整備に挑む女性土木技術者の奮闘記」（日本語版&英語版2022）



公益財団法人 日印協会

お問い合わせ

住所：東京都千代田区麴町 1-6 麴町保坂ビル 6階

TEL：03-6272-4408

E-mail：partner@japan-india.com

Webサイト：https://www.japan-india.com/

ご予約はこちらから
<https://forms.gle/av6bKbzpEsgS5ZgL8>



日印協会からのご案内

会員限定「天竺茶話会」

講師の方を招いて、あらかじめ決めたテーマで参加者の方々と話し合うお茶会です。

インド通の方、もっともっとインドについて知りたい方、インドについて詳しくなりたい方、皆様のご参加をお待ちしております。

どうぞお気軽にご参加ください。

- 《テーマ》 インド北東部の戦没者遺骨収集事業に参加して
- 《講師》 山口 凌氏 (特定非営利活動法人 JYMA日本青年遺骨収集団)
- 《日時》 2026年3月10日 (火) 14:00-15:30 (受付開始13時45分)
- 《会場》 公益財団法人日印協会 会議室
東京都千代田区麴町1-6 麴町保坂ビル 6階
- 《定員》 約18人※定員数になり次第、締切らせて頂きます。
- 《参加費》 お茶菓子とお茶代 1,000円(当日現金)
- 《お申し込み》 メール「partner@japan-india.com」
または、電話 TEL: 03-6272-4408

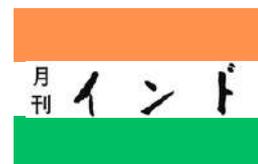
公益財団法人日印協会

住所： 〒102-0083 東京都千代田区麴町1-6 麴町保坂ビル6階
 電話番号： 03-6272-4408 ファックス： 03-6272-4135
 メール： partner@japan-india.com
 ホームページ： <https://www.japan-india.com>

MJIA(Monthly Japan-India Association)

2026年2月&3月号 (2026年2月27日発行)

発行人：齋木 昭隆 編集人：三谷 礼子



編集後記～紅茶のお話③Lapsang Souchong～

MJIA2月&3月合併号はいかがでしたか。マリック新駐日インド大使の着任歓迎レセプションには、大変多くの会員の皆様に御参加いただきました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

少し前に、取材でロンドンを訪れていた当会顧問のK氏よりお土産にラブサンスーチョンを頂いたので、今回はこの中国紅茶をご紹介します。

ラブサンスーチョンという紅茶をご存知ですか？ 中国福建省武夷山は良質な茶葉の産地であり、高級な烏龍茶の生産で知られていますが、ラブサンスーチョンもこの武夷山周辺で生産されています。日本ではあまり販売しているお店を見かけませんが、欧米では人気があり、イギリスでは紅茶専門店だけではなく、スーパーなどでも販売されています。



イギリスのスーパーWaitroseのラブサンスーチョン



その製法は、松の木を燻して高温にし、根熱した空気を茶葉にあて発酵させるというもので、独特なスモーキーな香りと味がします。「紅茶の味の違いが分からない」という方も、この紅茶だけは味の違いがはっきり分かるほど、特徴的で好みに分かれる紅茶です。当会職員の感想は、「…。薬みみたいな味がするね」「これは本当に紅茶なの？」とのことでした。レモンを絞る、砂糖とミルクを入れる、といった飲み方もあると思いますが、スモーキーな風味が損なわれてしまうことになるので、まずはストレートで頂くことをお勧めしたいです。また、日本の軟水で淹れるとかなり強い香りになりますが、イギリスのような石灰質の硬水を遣うと味も香りもライトになって飲みやすくなるので、硬水で淹れてみるのもよいかもしれません。

個性の強い紅茶ですが、その風味に負けないティーフードとの相性は抜群です。例えば、濃厚なチョコレートケーキやスモークサーモンのサンドイッチなど、「濃厚系」や「スモーク系」がおすすめです。

この紅茶を愛飲している一人に、ミステリーの女王アガサ・クリスティーがいます。「殺人は容易だ」の作中にもラブサンスーチョンが登場します。犯人は毒物を紅茶に混入させますが、それを誤魔化すために「味の強い（香りの強い）飲み物」が選ばれました。ヒロインは「中国茶はあまり好きではない」という設定があり、犯人から差し出された紅茶をこっそり窓の外に捨てたことで、間一髪で毒殺を免れています。

ラブサンスーチョンは、毒物を混入してもバレないだろう、と思われるほどの強い風味の紅茶ということですね。もしもこれがダーズリンだったら、「殺人は容易」だったでしょうか。

次号はアッサム茶をご紹介します。

(日印協会 三谷礼子)

個人会員継続の御案内

個人会員の皆様へのご連絡

4月に、「個人会費年会費（2026年4月～2027年3月分）の納入のお願い」を送付させていただきます。

その際、会員継続をご希望されない方はメール等でご連絡くださいますようお願い申し上げます。

お手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

なお、会費は5月29日（金）までにお支払いをお願いしております。

※公益財団法人である当協会の会費は、税法上の優遇措置の対象となり、所得税の確定申告時に「寄付金控除」の適用を受けることができます。



言語とテクノロジーを、日本とインドで

▶ 翻訳 / ローカライズ

英語や日本語とインドの
各言語間 双方向の翻訳 /
80 言語以上に対応する
翻訳・ローカライズサービス



▶ システム開発

▶ IT サポート業務

▶ インド現地における **市場調査、
展示会支援など**

Japan フィデル・テクノロジーズ株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-3
九段下東急真サクラビル 3 階
電話 : 03-6261-4910 (翻訳・インド進出支援)
03-6261-3309 (開発・IT サポート)
Eメール : info@fideltech.com Web : fideltech.jp/

India Fidel Softech Ltd.

Address: 2nd Floor, West Wing, Marisoft IT Park 3,
Kalyani Nagar, Pune 411014 (MS), India
Tel: +91-20-49007800
Email: sales@fidelsoftech.com Web: fidelsoftech.com/

<法人会員一覧>

2026年2月23日現在 (50音順)

特別法人会員 72社

株式会社 朝日新聞社
ARMS株式会社
ALSOK株式会社
医療法人社団 育健会
株式会社伊藤園
伊藤忠商事株式会社
インド日本商工会
ウェブスタッフ株式会社
弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所
エア・ウォーター株式会社
株式会社エイチシーエル・ジャパン
株式会社NTTドコモ
株式会社川内美登子・植物代替療法研究所
キャノン株式会社
クエスト・グローバル・ジャパン株式会社
蔵町工業株式会社
黒崎播磨株式会社
株式会社グローバルビューマニー・テック
国際縄文学協会
国際スポーツ振興協会
公益財団法人 国際文化会館
小島国際法律事務所

株式会社小松製作所
サントリーホールディングス株式会社
ジェンパクト株式会社
ジャパンベガスツアーズ株式会社
株式会社シンリョー
スズキ株式会社
住友商事株式会社
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド
世界開発協力機構
世界芸術文化振興協会
全日本空輸株式会社
双日株式会社
第一三共株式会社
第一生命ホールディングス株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社大和証券グループ本社
千代田化工建設株式会社
ティー・アイ・シー協同組合
株式会社ディー・エヌ・エー
株式会社TTJ・たちばな出版
一般財団法人東京芸術財団
株式会社東芝
株式会社東横イン
戸田建設株式会社
豊田通商株式会社

鳥飼総合法律事務所
株式会社日新
日本航空株式会社
株式会社日本視聴覚社
日本製鉄株式会社
日本タタ・コンサルタンシー・サービズ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社菱法律・経済・政治研究所
株式会社日立製作所
フィデル・テクノロジーズ株式会社
株式会社フジタ
富士フィルム株式会社
株式会社プレジィール
ポラリス・キャピタル・グループ株式会社
松田総合法律事務所
丸紅株式会社
株式会社MIXI
株式会社ミスズ
三井物産株式会社
三菱商事株式会社
民間外交推進協会 (FEC)
武蔵野メディカルシステム株式会社
株式会社メタルワン
郵船ロジスティクスグローバルマネジメント株式会社
株式会社ライズ・ジャパン

一般法人会員 142社

株式会社株式会社IHI
株式会社IPパートナーズ
株式会社アシックス
有限責任あずさ監査法人
アセアン・ワン株式会社
A'ALDA PTE. LTD.
株式会社 安藤・間
アーチ株式会社
いすゞ自動車株式会社
株式会社インフォブリッジマーケティング&プロモーションズ
株式会社INPEX
エア・インディア リミテッド
SBSホールディングス株式会社
株式会社エトワール海渡
株式会社NGC
株式会社FTO
エンビジョンエンタプライズソリューションジャパン(株)
沖印友好協会
株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル
株式会社オリエンタルランド
オーウィル株式会社
株式会社オープンハウスグループ
加賀電子株式会社
鹿島建設株式会社
カナデビア株式会社
亀田製菓株式会社
関西学院大学
株式会社クボタ
株式会社熊谷組
株式会社啓文社
株式会社 ケー・アンド・エル
鴻池運輸株式会社
株式会社交洋
株式会社講談社
酒井重工業株式会社
株式会社 サカタのタネ
公益財団法人笹川平和財団
株式会社 サンウェル
山九株式会社
三洋化成工業株式会社
G-8 INTERNATIONAL TRADING 株式会社
JFEスチール株式会社
JGREEN POWER PRIVATE LIMITED
株式会社システムコンサルタント
株式会社静岡ガス

株式会社静岡銀行
有限会社シタール
品川イーストクリニック
有限会社ジーエストラベル
株式会社商船三井
鈴与株式会社
住友重機械工業株式会社
住友電気工業株式会社
住友不動産株式会社
積水ハウス株式会社
セコム医療システム株式会社
ZEUS LAW
生活協同組合コープさっぽろ
医療法人社団創生会 町田病院
SOMPOホールディングス株式会社
大成建設株式会社
ダイキン工業株式会社
株式会社大創産業
株式会社タマインベストメントエデュケーションズ
学校法人 都築育英学園
露木興業株式会社
TMI総合法律事務所
ティー・ディー・パワーシステムズ・リミテッド
株式会社 帝国ホテル
帝人株式会社
株式会社テクノロジーONE
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京
株式会社デンソー
TECH JAPAN 株式会社
株式会社TBSホールディングス
株式会社電通
東京海上日動火災保険株式会社
東洋アルミニウム株式会社
東レ株式会社
飛島ホールディングス株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社トピア
内外トランスライン株式会社
株式会社中村屋
株式会社ナベル
株式会社ニトリホールディングス
株式会社ニフコ
西村あさひ法律事務所
日印ビジネス支援協会株式会社
日産自動車株式会社
日精工・エス・ビー機械株式会社
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
税理士法人 日本経営

日本信号株式会社
株式会社 日本経済新聞社
日本航空電子工業株式会社
公益財団法人日本交通公社
一般財団法人 日本国際協力センター
日本テレビ放送網株式会社
日本電気株式会社
日本放送協会
株式会社 日本マルコ
日本郵船株式会社
日本電子株式会社
野村不動産株式会社
野村ホールディングス株式会社
ノリタケ株式会社
ハイカル ジャパン
株式会社博報堂
株式会社 阪急交通社
阪和興業株式会社
株式会社ピーアイ・ジャパン
BEYOND NEXT VENTURES株式会社
株式会社BS日本
BLS INTERNATIONAL SERVICES LIMITED
公益財団法人フォーリン・プレスセンター
富士通株式会社
株式会社フジテレビジョン
富士電機株式会社
BAKER TILLY ASA INDIA LLP
フォースバレー・コンシェルジュ株式会社
株式会社ボルテックス
前田建設工業株式会社
株式会社みずほ銀行
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社三井住友銀行
三菱重工業株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社ミツバ
一般社団法人MEDICAL EXCELLENCE JAPAN
森・濱田松本法律事務所
株式会社ヤクルト本社
株式会社安井建築設計事務所
ヤマハ発動機株式会社
ヤマヤエレクトロニクス株式会社
ユービーエルジャパン合同会社
豫洲短板産業株式会社
読売新聞東京本社
学校法人立命館
YKK株式会社
医療法人社団和風会

JAPAN AIRLINES



新しい翼で、世界の空へ。

JAL 羽田-デリー線、成田-ベンガルール線
好評運航中!



おかげさまでJALグループは、8年連続で
世界最高ランクの5-STAR AIRLINE*に認定されました。
*2025年SKYTRAX社認定



明日の空へ、日本の翼